

編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313

高橋 ちづ子
智子友
いぶち
わぶち
国会議員連絡所
鶴岡市美原町16-5
☎ 22-3313
FAX 24-4096

無料生活相談所
関 徹
長者町11-26
24-2414
加藤 一
宝徳 56
64-3941
菅井 巖
中 桶 9 6
33-0534
坂本 昌栄
稲生 2-33-47
24-5993
山田 守
宝田 1-9-1-31
23-6548
長谷川 剛
日枝坂本 43-10
41-9148

9月議会 一般質問 (山田 守議員)

鶴岡駅周辺で冠水被害 対応策は 建設部長「駅北側は完了まで10年、虹の広場周辺は再来年着手」

6日に行われた鶴岡市議会の一般質問で、日本共産党の山田守議員は、①鶴岡駅周辺の排水対策、②会計年度任用職員制度、③RPA導入検討の経過について、市当局を質しました。

駅前店舗、駅北側の建物が冠水



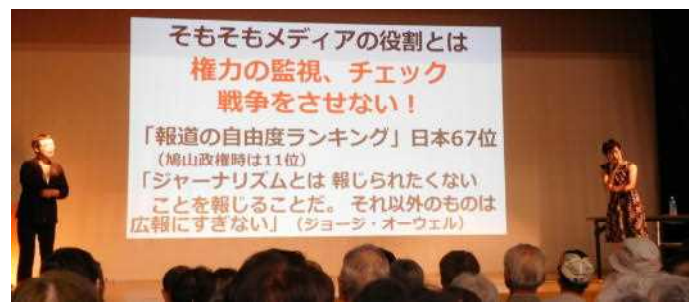
問 錦町、末広町にある店舗では、近年のゲリラ豪雨の発生で冠水被害に遭っている。

宝田一丁目虹の広場

公園周辺の市道、県道でも近隣の建物が冠水被害に遭っている。

鶴岡駅周辺地域の排水対策への対応は。

建設部長 短時間で激しく降る雨水が側溝の流下能力を超えたことや、部分的に側溝断面が不足していることなどが冠水の主な要因。



東京新聞社会部記者・望月衣塑子氏の「メディアと日本の危機」～言わなければならないことがある～と題した講演会が、14日三川町公民館で開催されました。日本の報道現場を取り巻く規制や環境悪化等との闘いが語られました。

対策として、側溝断面の拡幅や、新たな排水路の整備により被害の軽減が計られると考えるが、これには広範囲にわたる大規模な施設改修が必要である。関係機関との協議調整を行いながらより効果

会計年度任用職員制度 運用どう検討

問 会計年度任用職員制度の20年度施行が決定している。

本市での制度運用をどう検討しているか。

併せて、総務省は、ICT(情報通信技術)の徹底的な活用と業務の民間委託を推奨しているが、本市としての見解を伺う。

総務部長
年内を目処に給与等の勤務条件について整備を行い、年明け以降募集を開始する必要があることか

果的な冠水対策を行っていききたい。
駅北側周辺の排水対策は、全体の整備計画として完了までに10年を見込んでいます。
当面の対策として、虹の広場公園周辺の排水対策について、放流先である青龍寺川の排水樋門の改良に向け、関係機関との協議調整や詳細設計を進め、早ければ再来年より工事に着手できるように進めている。

ら、条例案を12月定例会に提案する準備を進めている。

現在の非常勤職員の水準を維持した場合、年間3億4千万円程度の人件費の増額が見込まれる。

事務事業全般にわたり、質の高い公共サービスを引き続き効率的・効果的に提供するためには、包括的民間委託を含め民間委託を推進することは今後検討が必要と考えるが、新たな制度導入による人件費の負担増のみを念頭に民間委託を行う検討はしていない。
民間委託の推進や行財政改革と併せ、適切な職員配置に努める。

効率性・コスト優先が「全体の奉仕者」変質

問 RPA(定型業務の自動化)導入の経過について伺う。
総務部長 RPA導入の効果として、手入力と比べ短時間で業務を処理でき、代替によって職員を付加価値業務に振り向けることができる。

また、業務の可視化、棚卸しが可能になり、効率化が進むことなどが挙げられる。
問 AI(人口知能)やRPAは、現状の公務労働を奪うものではなく、膨大な量の単純定型業務を短時間で正確に作業を遂行でき、市民サービス向上にも繋がると考える。
一方、民間の業態ではRPAの導入が先行し、それまで手入力がかつていたものが、RPA導入で1分で済むなど、業務の効率化が徹底され、ある民間の業態では、約3万3千人にもよる人員合理化計画が発表されている。

総務省の研究会の「自治体戦略2040」では、「スマート自治体への転換」を掲げ、「従来の半分の職員」で機能させる自治体づくりの戦略が記されている。
効率性とコスト優先が先行し、「全体の奉仕者」としての存在意義が大きく変質する危険性があるが。
総務部長 AIは柔軟に業務を実行することが可能になるなど、国も積極的に導入を推進している。

本市でも人口減少が進み、労働力が減少するなかで行政サービスの水準を維持するためには導入が必要と考える。
今後、費用対効果の面からも十分検討が必要と考えており、段階を踏み着実に導入を検討していきたい。

問 05年時点で、日本の人口当たりの公務員数は先進国中最低だ。日本では市町村合併と三位一体改革を経て公務員が減少している中で、さらに半減させようとする「スマート自治体」論がふさわしいものなのか、判断が必要になると考える。

憲法で規定された住民の幸福追求と、健康で文化的な最低限の生活を保障する「全体の奉仕者」としての公務員の増員を行い、質の高い行政サービスを充実することが必要だ。

新たな情報技術の導入により、本来の地方自治行政のあり方が歪められることがないよう、検討してもらいたい。

加齢性・中軽度難聴者への補聴器購入支援を

健康福祉部長「程度軽い方への拡大は推移を見たい」

6日に行われた鶴岡市議会の一般質問で、日本共産党の菅井巖議員は、①難聴者の支援、②大山コミセン改築、③高齢者・低所得世帯へのクーラー設置支援について、市当局の対応を質しました。

難聴支援「UDトーク」等機材の導入は



問 高齢化社会が進む中で、「加齢性難聴」が社会問題となっている。

聴力レベル70dB以上であれば、障害者認定を受けることによって補聴器も補装具費給付の対象となるが、聴力レベル40〜70dBの中軽度難聴者はそれに該当せず、補聴器購入は全額自己負担だ。

日本耳鼻咽喉科学会は、「加齢性難聴」の放置は認知機能の低下やうつ病を発症しやすくなるとし、補聴器使用で発症の抑制効果があると公表している。市として、加齢性難聴の独自支援ができないか。

健康福祉部長 中程度の難聴者への補聴器導入助成について、東北では岩手県大船渡市と福島県二本松市で実施している。

前年度実績で大船渡市は3件、二本松市は2件で、どちらも市民税非課税世帯の場合は自己負担がない。本市としては、日常生活に不便を来している障害をお持ちの市民への支援充実に努めているが、他市の実績が少ない中、障害程度の軽い人への支援制度の拡大は推移を見たい。

問 加齢性難聴による聴こえの問題は社会参加への障壁となる。

スマートフォンやタブレット等を使って会話の見える化を行うコミュニケーション支援アプリケーション「UDトーク」がある。

こうした機材の導入は有効と考えるが。健康福祉部長 「UD

大山コミセン改築 旧西高跡地活用は

問 大山コミセンの早期改築は地域住民の長年の要望だが、この度の地震被害を受けて、避難所として災害の際に機能が果たせるか、地域住民から不安の声が寄せられている。

地盤による修理後は十分機能が果たせるのか。市民部長 今回の地震による構造体劣化はないが、現行の耐震基準以前の建物で、老朽化も進んでいることから、今後地震による建物被害も懸念される。

「トーク」は、機能として「音声を認識して会話等をリアルタイムで文字化」「指定言語への翻訳」「内容を肉声で読み上げる」など、使用方法としては「手書きのやり取り」「キーボード入力」ができる。

窓口対応の際に手元に置き一対一でやり取りできるほか、会議や講演会などの広い場所で、機材を接続して大きな画面に映し出すことも可能だ。

聴こえに支障を感じている人や、外国人等とのコミュニケーション障壁を軽減する事ができる。

福祉分野に限らず幅広い用途があり、行政分野全般において先進地事例などを参考に調査・研究していく。

当面は避難所として活用するが、災害発生時に避難所開設する場合は、他の避難所と同様に、市の職員や建築士会等により施設の安全を充分確認した上で運用していく。

問 改築に係る基本的な構想について、現在の場所は「地盤が悪い」ので建替えするなら別の所との声も寄せられている。

現在、市が普通財産として管理する旧鶴岡西高の跡地の活用は考えられないか。

地盤は良いし、大山公園の麓であり、県の眺望景観資産である公園と、ラムサール条約指定の上池・下池を有する地域拠点に位置する。

大山自治会が指定管理する「大山公園」「ほとりあ」等周辺と一体に、拠点機能を高める上でも有効と考えるが。

市民部長 改築にかかる基本的構想は、地元の見解を伺い、他施設との均衡も図りながら、地元と市とで協議を重ね、合意の下、策定していく。

高齢低所得者にエアコン設置助成を

問 福島県喜多方市や相馬市などでは、高齢者の熱中症対策の一つとして、エアコンのない非課税高齢者世帯へ設置費用の一部を助成する事業を行っている。

本市においても支援を検討する必要があると思うが。

健康福祉部長 高齢者・低所得者へのクーラー設置費用の支援については、県内で実施している市町村はなく、

現在の場所は、経年的地盤沈下により建物に支障を来している状況もあるが、地質条件を踏まえた対応も技術的には可能となっており、現在の敷地が改築場所の候補となり得ると考えている。

旧西高跡地は周辺施設と一体的に機能する一方、周辺道路が狭隘なため、車での来館が多い施設としては利便性に課題がある。

また、埋蔵文化財包蔵地であるため、改築工事前に調査を実施する必要があるなどの課題もある。

現在のところは考えていない。熱中症予防のため暑さを避ける他、こまめな水分補給も重要とされる。

市では70歳以上の見守りが必要な一人暮らしの高齢者を対象に、安否確認のため民生委員が訪問する「愛の一声運動事業」を実施しており、こうした機会に注意喚起をしていきたい。

<p>土木課入札結果 () 内は予定価格 9月12日入札分 ・大荒中沢矢引線側溝改良工事 (中沢地内) (入札4業者) (株)諏訪建設 2,300,000円 (2,593,000円) 工期~11/29 (落札率88.70%)</p>
<p>教育委員会管理課入札結果 () 内は予定価格 9月12日入札分 ・あつみ小学校ブロック擁壁改修(災害対応)工事中止</p>
<p>水道課入札結果 () 内は予定価格 9月13日入札分 ・公道漏水修理等に伴う路面復旧工事 (第2回) (市全域地内) (入札3業者) (株)東北ペーブ 3,850,000円 (4,137,000円) 工期~11/29 (落札率93.06%)</p>
<p>9月9日入札分 ・堅苔沢地内径150、100耗配水管復旧工事中止 (堅苔沢地内)</p>